



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 学校の声が聞こえてこない

5       桜の開花は数日後のはずなのに、今日は少し肌寒い。いま私は湘南大学経営大学院の学位授与式を終え、経営学修士号の学位記を小脇に抱えている。35歳になって再びくぐった大学の門。あっという間の2年間だった。企業派遣学生である私は、今日で学生生活を終え、明日、また職場に戻る。明日からの私の職場はカスタマーリレーション部門なのだそう。私はこの部門のナンバー2として、久しぶりにまた仕事に明け暮れる日々を送るのだろう。

10

しかし、私が過ごしてきた大学院という場を、これからの私の仕事となる「顧客対応」という視点で振り返ってみると、実に不思議な世界だったという気がしている。その不思議な世界は、思えばこのようにして始まった。

15

## 入学合宿

湘南大学経営大学院の修士課程は、全日制的いわゆるビジネススクールである。ここで2年間に規定の単位を取得して、修士論文審査、またはプロジェクトワーク審査に合格すると修了となり、経営学修士号が授与される。この学校に集う学生は、伝統的に9割以上が社会人学生であり、数多くのビジネス経験や価値観が教室に持ち込まれる。男女の比率はおおむね8：2。平均年齢は約31歳で、私たちの期の最年長は46歳の男性だった。

20

---

このケースは慶應義塾大学ビジネス・スクール MOT 実証授業「ケースメソッドで教える授業カリキュラムの開発とマネジメント」の教材とするために、竹内伸一（ケースメソッド教育研究所）が作成した。ケースに登場する教育機関、および人物はすべて架空のものである。(2004.12)

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、ケースの複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail case@kbs.keio.ac.jp）。また、ケースの注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/case/index.html>。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、本ケースのいかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またはいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送は、これを禁ずる。

Copyright©2004 は慶應義塾大学ビジネス・スクールが保有する。